

# 亀山市で物産展開く

たべねっとみえ

【三重】大王運輸（天白拓治社長、三重県明和町）などが行う地産地消ネットワーク「たべねっとみえ」は8、9の両日、亀山市のショッピングセンターで観光物産展を開き、熊野市と尾鷲市の特産品などを販売した。

たべねっとみえは、トラック事業者が小規模生産者から集荷し、輸送から物流加工、販売までをワンストップで取り組むもの。大王運輸と中田商事（中田純一社長、伊賀市）が物流関連業務に加え、商品開発や販売戦略立案まで手掛

## さんま寿司など試食 好評



けている。

物産展で販売した商品は、

評でますますの成果だった。

熊野市と尾鷲市の18の生産者が作った海産・農産加工品の計100アイテム。試食も行われ、さんま寿司、さんま甘

いる。今後、消費者人口が多い四日市市や、隣県の名古屋市での開催も検討したい」と話して

たべねっとみえのコーナーに陳列された特産品

露煮、干物、甘夏ジュースなどを味わった。

たべねっとの発案者で観光物産展を企画した百五経済研究所（荒木康行社長、津市）の山本浩和主席研究員は、「猛暑の影響で、客足が思ったほど伸びなかったが、試食は好

（星野誠）